

# BOM Ver.3.0の概要と効果や メリット、利活用について

日本クリニカルパス学会・済生会熊本病院  
中熊 英貴

Basic Outcome Master  
(ビーオーエム)

# Agenda

---

- はじめに
- BOMとは
  - 概要
  - 経緯
  - 事例
  - 今後の展望
- おわりに



# Agenda

---

- はじめに
- BOMとは
  - 概要
  - 経緯
  - 事例
  - 今後の展望
- おわりに



## はじめに

---

術後2日目に38℃以上の熱がある患者を簡便に抽出したい！



## はじめに

---

術後2日目に「**体温に問題がない-体温【適正值： $\geq 38.0^{\circ}\text{C}$ 】**」でバリエーションの患者を抽出すればいい！



# Agenda

---

- はじめに
- BOMとは
  - 概要
  - 経緯
  - 事例
  - 今後の展望
- おわりに



## 概要

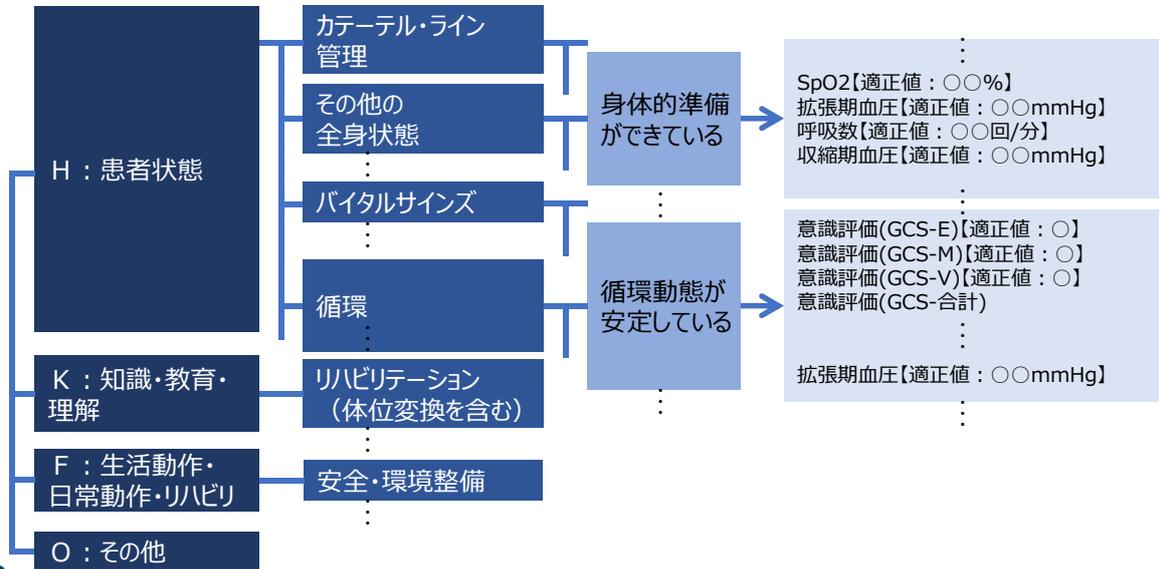
---

- 日本クリニカルパス学会監修のマスタ
- 307に整理したアウトカムとその目安である観察項目を1,680に整理し、アウトカムとひも付けが可能なかたちでグルーピングしたマスタ (Ver.3.0)
- 看護実践用語標準マスター (MEDIS-DC) に準拠した62の分類と観察項目のひも付けを行ったマスタ



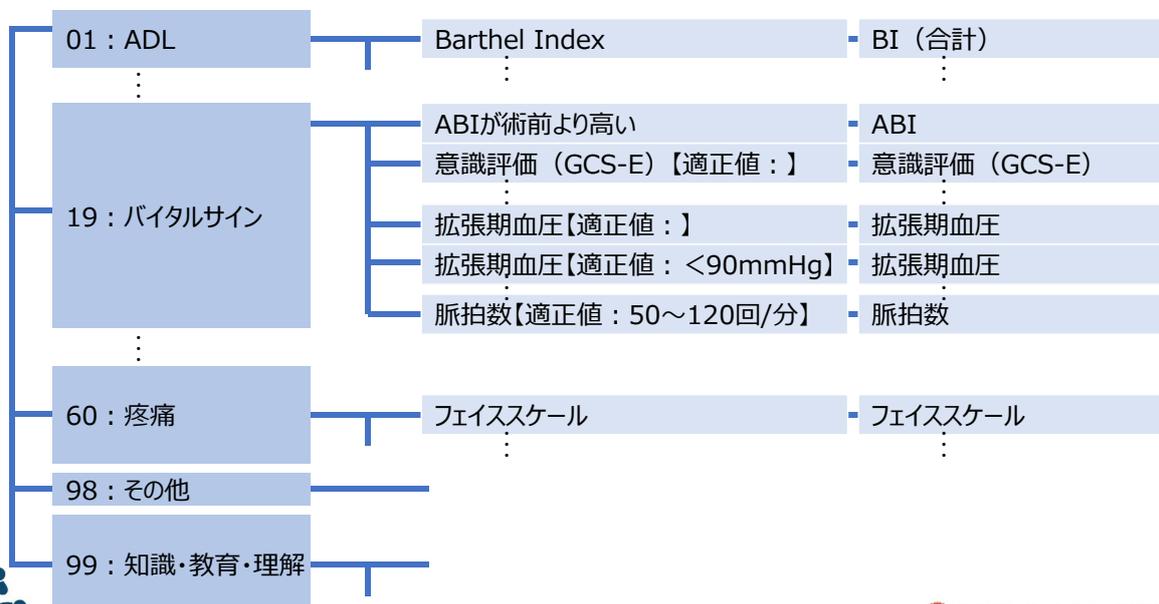
# 概要-構造-アウトカム・観察項目

大分類：4      中分類：40      アウトカム：307      観察項目：1,680



# 概要-構造-観察項目

観察項目分類名称：62      観察項目：1,680      観察名称：1,680



## 経緯-年表

年月	イベント
2001.05	アウトカム志向の紙パス（日めくり）運用
2005.04	パス作成支援ツールPath Team Lite®発売
⋮	さまざまな施設で使用され、電子化が加速し、標準マスタの要望があがる
2009.10	アウトカム部会（現、標準化委員会）でマスタ整備作業開始
2011.04	BOM Ver.1.0 リリース
2019.01	HELICS標準化指針として採択、認定される
2019.06	BOM Ver.3.0 リリース



## 事例-データ収集

「発熱があり、食欲がなかった」患者を抽出したい

「発熱があった…食欲がなかった」

「発熱あり…食欲なし」

「発熱（+）…食欲（-）」

「熱があった…食欲がなかった」

「熱あり…食欲なし」

「熱（+）…食欲（-）」

⋮

1. 表現
2. 記載者
3. 記載日時

以上が、**バラバラ**



## 事例-データ収集

「発熱があり、食欲がなかった」患者を抽出したい

発熱があり、 アウトカム変換 → 003190 体温に問題がない

食欲がなかった アウトカム変換 → 001680 食事摂取ができる

「体温に問題がない」がバリエーション、かつ、「食事摂取ができる」がバリエーションの患者を抽出すればいい



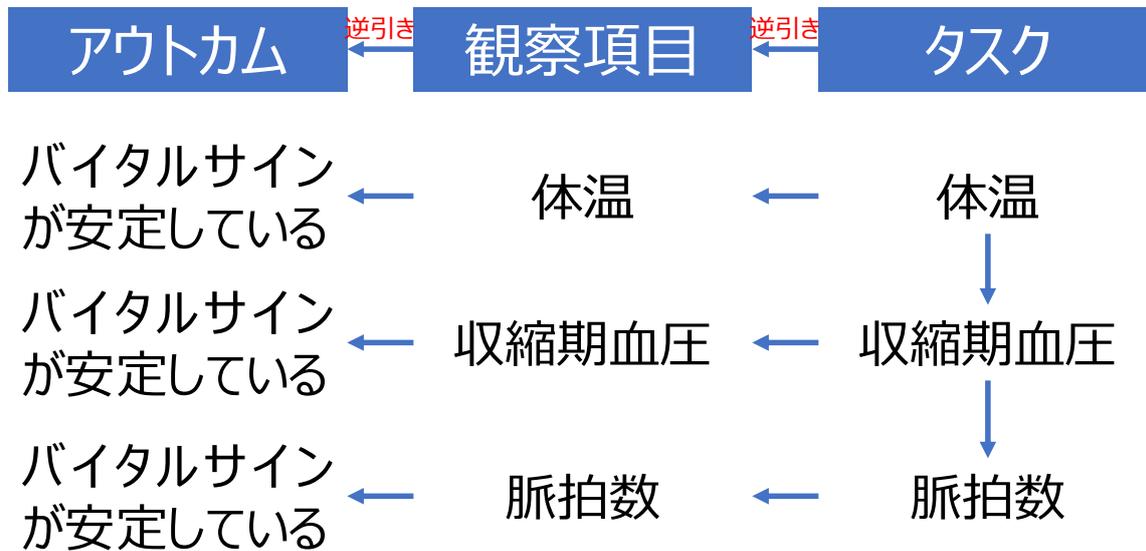
## 事例-汎用パス作成



体温などタスクを疾患別にセット化した**看護計画**から汎用的な**パス**作成が可能となる



## 事例-汎用パス作成



## 事例-汎用パス作成

バイタル  
チェックセット + 腹部症状  
観察セット + ...  
×  
日数

バイタルチェックセットや腹部症状観察セットなどと日数の組み合わせで、汎用的なパス作成が可能となる



## 事例-医療安全実施

呼吸状態が安定している — SPO2 — SPO2

① 観察項目SPO2に**評価時刻**「6:00、12:00」を設定する

② 観察項目SPO2に**適正值**「 $\geq 93\%$ 」を設定する

さらに…

③ **バリエーション**だった際の**処置行為**「酸素3L吸入」を決めておく



## 事例-医療安全実施

呼吸状態が安定している — SPO2 — SPO2

	6:00	12:00
呼吸状態が安定している		
SPO2【適正值： $\geq 93\%$ 】	89%	

SPO2を測定したら…89%だった  
適正值「 $\geq 93\%$ 」のため、**バリエーション**と判断した



## 事例-医療安全実施

呼吸状態が安定している — SPO2 — SPO2

	6:00	12:00
呼吸状態が安定している	V	
SPO2【適正值： $\geq 93\%$ 】	89%	

バリエーションのため、処置行為「酸素3L吸入」を施行した



## 事例-医療安全実施

呼吸状態が安定している — SPO2 — SPO2

	6:00	7:00	12:00
呼吸状態が安定している	V		
SPO2【適正值： $\geq 93\%$ 】	89%	94%	

急遽、7:00に測定したら、94%で、回復したことを確認できた  
この一連の「測定→評価→施行→再測定→再評価」が  
医療安全管理の実施と言える



# 今後の展望

---

- 結果値の整理、定義付け
  - 「-」「±」「+」などではなく、「あり」「なし」とする など
  - 「あり」の程度は記録で補完する など
- せん妄や認知症患者、地域連携パスへの活用範囲拡大
  - 精神、ADLのアウトカムと観察項目の追加



# Agenda

---

- はじめに
- BOMとは
  - 概要
  - 経緯
  - 事例
  - 今後の展望
- おわりに



# おわりに

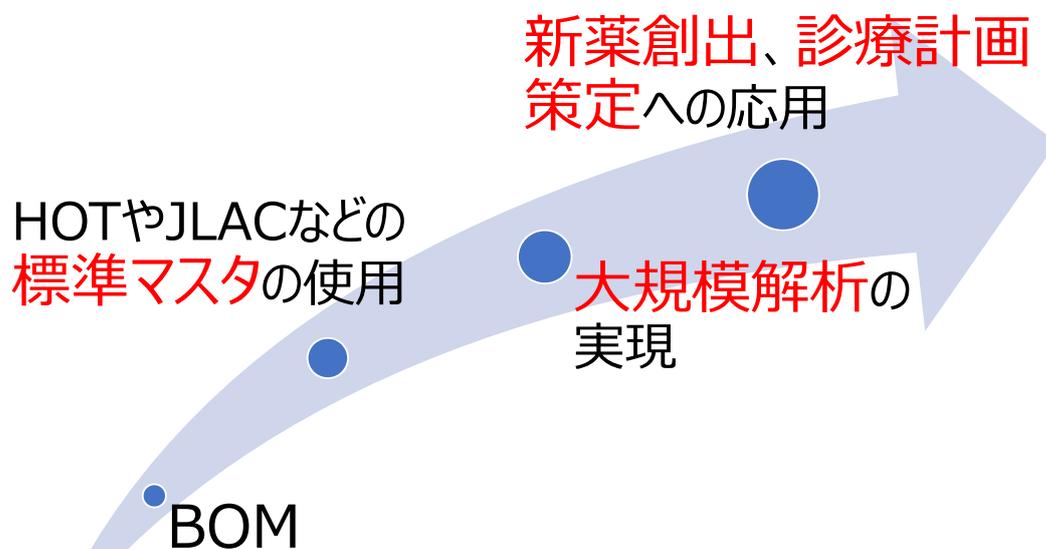
---

BOMは医療安全が担保でき、**医療データ解析の基盤の一部**となり得る



# おわりに

---



ご静聴  
ありがとう  
ございました。

